

の神経芽腫と診断された。原発巣に一致して $^{99m}\text{Tc-MDP}$ による骨シンチグラム、 $^{123}\text{I-MIBG}$ シンチグラムにて RI の明瞭な取り込みが認められたが、 ^{67}Ga シンチグラムでは陰性像として描出された。当施設におけるマススクリーニング症例（以下マス症例）6 例、非マススクリーニング症例（以下非マス症例）9 例の計 15 例の神経芽腫によると Ga シンチグラムの陽性率はマス症例で低く、1 歳以上の非マス症例に高かった。 Ga シンチグラム陽性例では血清 ferritin 値が高い例が多かった。

5. $^{123}\text{I-MIBG}$ による副腎シンチグラフィの経験

大日方 研 宮前 達也 鈴木 健之
(埼玉医大・放)
木下信一郎 (同・二内)

交感神経心筋イメージング製剤として開発された $^{123}\text{I-MIBG}$ (原則として 111 MBq 投与) を用いて副腎シンチグラフィを施行した。対象は正常 7 例、偽陽性例 1 例、副腎外褐色細胞腫 1 例である。静注後早期 (4-6 時間) に腎の描出が認められることがあった。24 時間後正常副腎の描出は 7 例中 2 例に認められた。27 歳女性、偽陽性例。6 時間後像にて右副腎周囲に強い集積を認めた。褐色細胞腫を疑い CT および $^{99m}\text{Tc-DTPA}$ 腎シンチグラフィを施行。正常腎盂への集積を確認した。71 歳男性、高血圧、血中アドレナリンおよびノルアドレナリンの上昇が認められ、エコーにて後腹膜腫瘍を指摘された。 $^{123}\text{I-MIBG}$ シンチグラフィにて副腎外褐色細胞腫の早期診断 (静注 6 時間後) が可能であった。腫瘍と肝、心、バックグラウンドとの比は時間とともに上昇しており、特に T/B 比では 24 時間で最も高値を認めた。

$^{123}\text{I-MIBG}$ シンチグラフィは、褐色細胞腫の診断上きわめて有用と思われる。

6. 再発が疑われた脳腫瘍患者における ^{201}Tl 脳 SPECT による予後評価

小須田 茂 草野 正一 (防衛医大・放)
藤井 博史 鈴木 謙三 (都立駒込病院・放)

脳腫瘍患者に対して、手術、化学放射線療法施行後、経過観察中に CT あるいは MRI にて腫瘤病変が発見され、脳腫瘍再発が疑われた患者に対して、 ^{201}Tl 脳

SPECT を施行し、 ^{201}Tl による定量的解析が予後を予測しうるか検討した。

その結果、L/N 2.5 以上群と 2.5 以下群では明らかに予後が異なっていた。L/N 値が高値を示すほど生存月数は短縮する傾向がみられた。Grade 分類では、Grade III, L/N 2.5 以上群が予後不良であったのに対し、Grade III, L/N 2.5 以下群には死亡例がみられなかった。Grade IV 群では L/N 2.5 以上群と 2.5 以下群間に予後の差がみられず、両群とも不良であった。

7. エストロゲン補充療法 (HRT) による脳血流

手島 泰明 岩崎 尚彌 夏井 哲
田沼 好章 (独協医大越谷病院・放)
大蔵 健義 (同・婦)

早期閉経 (40 歳以前での閉経) 6 名、原発性無月経 (今までの人生のうちで 1 回も月経がなかった) 5 名、コントロール 5 名 (第 2 度無月経) についてプレマリン 1.25 mg 分 2×朝夕内服前と後の CBF を動脈採血法により行い前後の CBF を比較した。結果は早期閉経では 6 名中 5 名について CBF が増加した。原発性無月経については 5 名中 4 名は CBF は少し減少した。従来の報告では、ヒツジを用いた実験で心拍出量は一定で、子宮動脈の拡張がプレマリン投与で証明されている。ヒトでは、ドブラー法で carotid vessel 内の血流量の増加が報告されている。今回の検討では早期閉経例でプレマリン投与で CBF の増加があった。エストロゲンが脳の受容体に作用して血管拡張をおこして CBF が増加したと推測される。

8. 静脈性血管腫症例における脳血流 SPECT

松田 博史 (国立精神神経セ武蔵病院・放)

微小静脈血管腫による症候性てんかん (頭頂葉てんかん) 症例と考えられた 25 歳の女性に、 $^{123}\text{I-IMP}$ による脳血流 SPECT を発作間歇期に施行した。微小静脈性血管腫の検出は造影 CT によってなされ、造影 MRI および血管造影にて確診された。この異常血管への還流異常による脳組織循環不全により、周囲の左頭頂葉皮質に血流低下が SPECT により認められた。脳波所見とも一致し、てんかん焦点と判断された。また、正確な脳血流異